

平成 28 年 11 月 22 日（火）にグランフロント大阪にて、けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2016 を開催しました。

行事の名称	けいはんな R&D イノベーションフォーラム ～『新事業創造に向けた新価値創造』
行事の目的	マーケットを見据えつつ新事業・産業創出に向けて産学官連携、異業種連携、研究開発成果の利用促進を進めている「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」の中間成果を、会員はもとより広く一般にも知っていただき、オープンイノベーションを基軸とした本活動の更なる飛躍を図る。
行事の実施日時又は実施期間	平成 28 年 11 月 22 日（火） 10:15～17:00
行事の実施場所	グランフロント大阪北館タワー B 10 階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワー B Room B 01+02 （大阪市北区大深町 3-1）
行事を主催する団体等の名称（共催を含む。）	公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 RDMM 支援センター
行事の参加人員数	第一部：無料にて参加者 26 名 （内訳 会員 26 名） 第二部：無料にて参加者 137 名 （内訳 会員 32 名、一般 105 名）
広域連合以外の後援した団体の名称	国立国会図書館、(公財)関西経済連合会、京都府、大阪府、奈良県
実施の状況（行事に参加した者の状況等）	第一部はけいはんな R&D イノベーションコンソーシアム会員が参加、第二部はマーケットを見据えながらの新事業・産業創出に興味を有する産業界を中心とした方々に対し、地域、会員、非会員に関わらず広く公開。

【第1部】

時間	内容
第1部 けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム中間成果報告会	
10:15-10:20	開会挨拶
10:20-11:05	コンソーシアム進捗状況・中間成果等について
11:05-11:35	各WGより現在の検討進捗状況を報告

会員向けに実施された第1部の中間成果報告会では、まずはじめに、技術・運営委員会からコンソーシアムの全般の進捗状況をはじめ具体的な活動成果に関するトピックスが報告されました。つづいて、ワーキンググループ活動からは、各WGからの具体的な成果ならびに今後の検討項目に関する状況報告があり、さいごに、WG活動を加速推進するための施策として11月10日に発足させた『Club けいはんな』ならびに『特区活用』の積極的な運用に関する報告がありました。これにもとづき、会員間において熱心な議論が行われました。



【第2部】

時間	内容
第2部 セミナー「けいはんな発の新価値創造」	
13:00-13:10	「歓迎と開会の挨拶」
13:10-13:25	「コンソーシアム活動状況について」 丸野進 (RDMM 支援センター長)
13:25-13:35	「イノベーションを支える情報ナビゲーション」 南亮一 (国立国会図書館関西館文献提供課長)
13:35-14:35	「サービス・マネジメント: 「価値共創」の未来」 藤川佳則先生 (一橋大学大学院国際企業戦略研究科准教授)
14:35-14:50	休憩 (15分)
14:50-15:50	「IoT における新価値創造」桑津浩太郎氏 (株式会社野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部長)
15:50-16:50	「IoT における事業実現に向けた日本的価値観の転換」 梶本一夫氏 (パナソニック(株)CTO 室 理事)
16:50-17:00	「閉会の挨拶」

一般向けに実施された第2部の公開フォーラムでは、137名の皆様の参加を戴きました。冒頭において、コンソーシアム活動とその成果、国会図書館関西館の活動に関する紹介が行われたあと、「新たな事業創造に向けた新価値創造」を主題に、一橋大学の藤川佳則先生、野村総研の桑津浩太郎氏、パナソニック(株)の梶本一夫氏より未来に向けた価値創造のありかたに関して最新のデータを交えつつ貴重な講演を戴き、参加者の方々からも期待に違わぬセミナーであったと高く評価いただきました。

